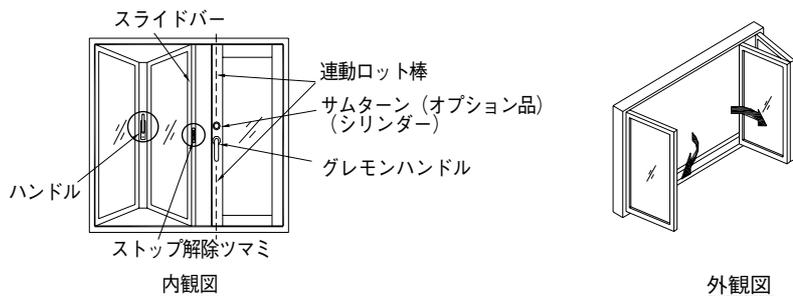
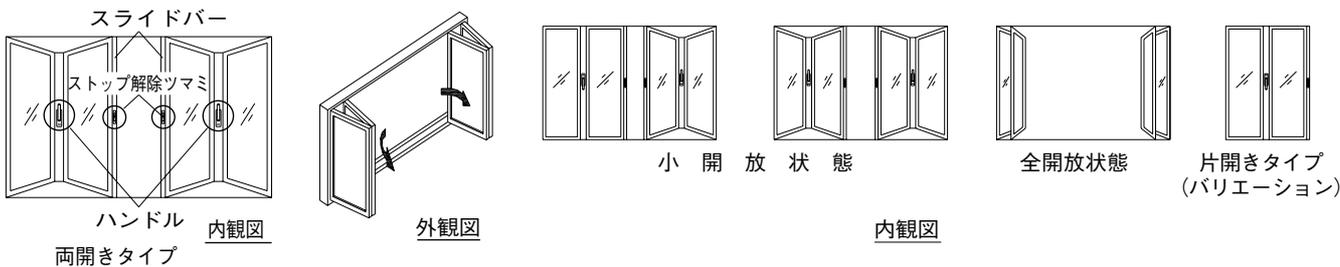


■ 全開口サッシの取扱い

商品基本パターン

当商品は、小開放・全開放2段階の開放機能を持っています。
本取扱説明書を良くお読みになって正しくご使用ください。



三枚建てタイプ

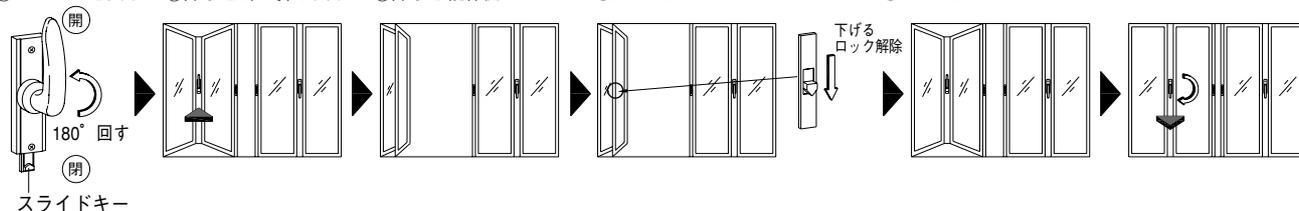
折れ戸の開閉操作

- ①ハンドルを反時計回りに180°回すと折れ戸が解錠されが移動可能になります。
- ②ハンドルを持ったまま室外側へ障子を押し出すと障子が中折れ状態になります。
- ③スライドバーの手掛けを持ち縦枠側へ移動させるとロックがかかり全開放状態になります。
※開きの速度が遅いときには、小開放状態でロックがかかることがあります。
- ④スライドバーについているストップ解除ツマミを下げるとロックが解除されるのでスライドバーを持って閉める方向に引き出していくと、小開放状態でロックがかかります。
- ⑤スライドバーについているストップ解除ツマミを下げて、スライドバーを持って閉める方向に引きます。
- ⑥ハンドルを持ち障子を手前に引き寄せてから、ハンドルを時計回りに180°回して障子を施錠します。

◆ハンドルはスライドキー付きです

ハンドルは下部にあるスライドキーを上下させることによりハンドルの回転を可能にしたり不可能にしたりすることができます。

- ①ハンドルを回す
- ②障子を外へ押し出す
- ③障子を縦枠側へよせる
- ④ストップを解除する
- ⑤ストップを解除する
- ⑥障子を引寄せ
- ④障子を閉める方向に動かす
- ⑤障子を閉める方向に動かす
- ⑥ハンドルを回す

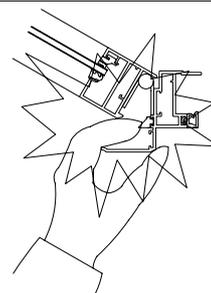


▲ 注意

1. 風の強い時は、扉の開閉に注意してください。
風にあおられて扉が急激に閉まるなどして、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

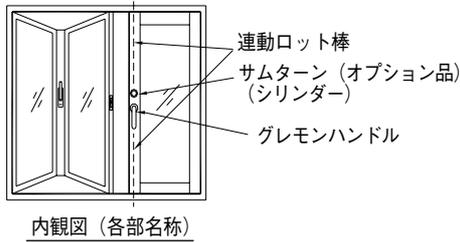
お願い

- ❶ ハンドル操作は確実にこなってください。中途半端な位置での操作は故障の原因となります。
- ❷ 窓の開閉操作はゆっくりこなしてください。急激な操作は思わぬ事故やけがにつながります。
- ❸ 閉操作時、手掛けの奥まで指を入れないでください。手や指をはさみ思わぬ事故やけがにつながります。



開き戸の開閉操作（三枚建て）

三枚建ての開き戸側の操作は次の手順によりおこなってください。



■グレモン締まりの操作

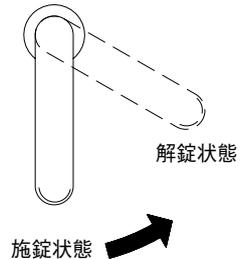
グレモン締めは、レバーハンドルの操作により、ドアの上下枠にロット棒を突き出して施錠をおこないます。次の操作手順に従って操作をしてください。

◆開放時

- ①ハンドルを60°回転させると解錠されます。扉を開いてください。
※サムターン（シリンダー）が取り付けられてる時は、先にサムターンを解錠してからハンドルを操作してください。

◆閉鎖時

- ①扉を閉鎖後、ハンドルを60°回転させて施錠してください。
※サムターンが取り付けられている時は、ハンドル操作後サムターンを施錠してください。
※サムターンはオプション品です。



ドアクローザ（自閉装置）

ドアクローザは開いた扉を自動的に閉める装置です。

- ①ドアクローザは扉を90°開いた時にストップ状態になります。
- ②同室内で他の開口部（窓など）が開いていると、風の流動により閉鎖スピードが速くなることがあります。

※ドアクローザの ■使用上のお願い、■速度調整のしかた、については、別頁 [ドアクローザの取扱い](#) をご覧ください。
(本品はNewStar 60シリーズ 162N (62Nストップ付) を使用しています)

▲注意

1. 風の強い時は、扉の開閉に注意してください。
風にあおられて扉が急激に閉まるなどして、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

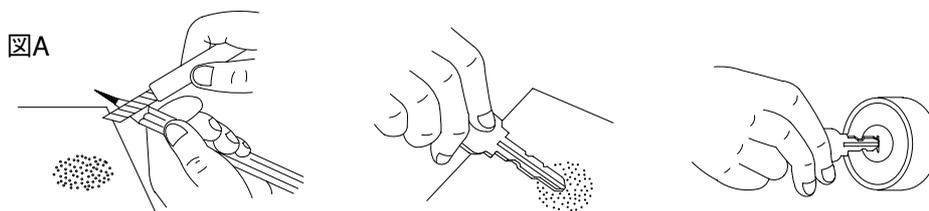
お願い

- ❗ ハンドル操作は確実におこなってください。中途半端な位置での操作は故障の原因となります。
- ❗ 窓の開閉操作はゆっくりおこなってください。急激な操作は思わぬ事故やけがにつながります。
- ❗ 突風が吹いた時などに扉が自閉する可能性があります。扉の開閉は注意しておこなってください。

錠前（オプション）

■日常の簡単なメンテナンスの方法

- ①鍵の抜き差しがスムーズでない場合には、鉛筆の芯（黒鉛）を削って粉にしたものを鍵にまぶして、何回か鍵穴に差し込んでください。（図A）
- ②錠前がガタつく場合には、錠前の取付用のねじをドライバーで適度に締め付けてください。



お願い

- ❗ 鍵および鍵穴には、油をささないでください。
- ❗ 施錠した時は、念のためにハンドルを動かして施錠状態を確認してください。